

どんぐり

実生

〒330-0042 さいたま市浦和区木崎3-1-1

埼玉県立浦和西高内 浦和西高斜面林友の会事務局 電話 048-831-4847

メール件名は「斜面林」と記入してください。

入会の申し込み、問い合わせメール 3220028501@jcom.home.ne.jp

『実生』投稿受付 ashinagako@gmail.com

ホームページ <http://unshamenrin.wix.com/un-shamenrin>



《1月21日》

天 気： 晴れ

参加人数： 22名

活動内容 ①アズマネザサ刈り
②さつまいも畑の草刈り

晴れ 冬ですね。寒いです。



URAWANISHI.SHAMENRIN

Instagram QRコード

① アズマネザサ刈り

先月の落ち葉掃き同様にアズマネザサ刈りも冬の間に必ず行う作業です。このアズマネザサは根が深くて引っこ抜くのが大変なので、伸びてきてはせっせと刈ります。斜面林には貴重な植物があるので、間違って刈らないようにしていますが、アズマネザサは覚えやすい草なので、草刈り初心者は安心です。



せっせとアズマネザサ刈り

② さつまいも畑の草刈り

収穫の終わったさつまいも畑ももう秋の焼きいも大会に向けて準備します。畑は一年かけて作業があるのですね。農家の人们はすごいなあと改めて思います。



畠の草刈り



埼玉県の活動団体に聞いた

仲間募集や資金集めなどについてのアンケートについて
どの団体でも

方法は？：ウェブ・パンフやチラシ・機関紙発行が多い

課題は？：資金不足・人材不足・後継者不足で苦労している
知人からの直接の声かけで参加することが一番多い

斜面林友の会も例外ではなく

会員の高齢化・助成金減額・後継者育成は課題だと思います。

特に、斜面林友の会の良さは「地域の方と西高関係者との協力」だと思うので、この形を維持していけるようなアイデア募集！



ナラ枯れが埼玉県で広がっている！

体長 5mm のカシノナガキクイムシが木について「ナラ菌」を広げていくそうだが、そんな小さい虫を見つけることは一般の人には難しい。西高斜面林にも住み着く可能性があるから活動日にはちょっと確認したいです…

見沼田んぼが首都高と東北道をつなぐルートになる？！
2023.1.17 埼玉新聞によると貴重な生き物が住んでいる見沼田んぼの上に高速道路を作る計画があるそうだ。緑のグリーンベルトとして大切に保存してきた場所にいきなり高速道路が走るとは…？この計画を知って専門家たちがきちんと生態系を調べるよう申し出ているそうです。

役所で働いている人たちに見沼の価値が伝わっていないし見沼で活動している人たちも高齢化が進んで段々と伝わらなくなっているかもしれません。

見沼が何故残されているのか、何故貴重な生態系を守るのかなど次世代にきちんと伝えていかなきゃです。

首都高と東北道どうつなぐ…さいたまで検討会 見沼田んぼがルートの可能性 農業、景観「慎重に配慮を」



板橋市広域幹線道路（埼玉新都心線・東北道付近）
地元検討会（委員長、久保田尚樹埼玉大学教授）の
初会合が 1 日、見沼田んぼが開かれた。JR 湘南
線を目的的に南北の東北道を結ぶ高速道路の整備計画を検討
する。見沼田んぼがルートによる可否性がどういふことか
ら、農民を始め市町村から「環境、農業、開拓への
配慮、生態系への影響調査が必要」などの意見が出
た。

同市の検討局は、関東地方整備局大宮国事務所、埼、さいたま市、團央由等地域
の現地的な渋滞緩和目的に、首都高埼玉新都心線見沼インターチェンジ（IC）から
東北道（渋和 IC - 渋水 IC間）付近を結ぶ連絡道を優先し、概略計画を進めること
を目指して設立された。面積距離は 5 ~ 6 キロ、多摩線の高速道、見沼田んぼがルート
による可能かといつて。

委は行政側のほか、埼玉大学理工学研究科生命科学部門の原口由香子教授、
同環境科学・社会基盤部門の深堀清隆准教授ら、深堀准教授は「見沼田んぼの農業、景
観について慎重に配慮してほしい」。日原教授は「生態系にどう影響があるのか調
べてほしい」と意見を述べた。

事務局は新年度に地元住民のアンケートを行う方針。検討会での意見を踏まえ、見沼
田んぼで活動している市民団体などと個別に意見交換を検討する。今年 2、3 月には市
役所などパネル展を開き、ホームページで市民の情報提供を実施。意見収集を進
めて、複数のルート案を検討、提示する予定。

大宮国事務所が立ち上げた県東西幹道検討会が 2021 年 12 月、同区间を優先

して概略計画の検討を進めるところだ。

【おがキンちゃんのひとりごと】

馬齢を重ねる程に気になってくるのは、脂肪ですね。やれ、肥満指数とか BMI とか、健康度チェックで、これほどやかましく言われている指数はありません。本当は腎機能の方が、遙かに重要なのですが。でも確かに脂肪と健康度との相関は重要です。

でも、一口に脂肪と言っても私どもは、どこまで理解しているでしょうか。大変、心もとありません。実は私も間欠的に脂肪のことを勉強してきましたが、未だ全体像を理解し得ていません。ですから、私の感じていた身近な疑問から話を進めたいと思います。

皆さんのが使う植物油、ダイズ油とかグレープ油とかコーン油とか。でも、豆腐やブドウを食べて、ちっとも「油」臭く無いしふつつきません。前々から疑問でした。私は生物学を学んだのに迂闊でした。どんな植物にも「脂肪」はあるし、希少植物油は売られています。例えば、有名なのは月見草油とかバラ油とか。えーと思うのも無理はありません。私どもが連想する脂肪は豚肉や牛肉の白いアレですが、月見草やバラはおろか、ほとんどの植物に白いアレは有りません。

実は、貯蔵脂肪ではなく、生物の細胞構成体は必ず脂肪が使われています。それは動植物共通の細胞膜です。細胞膜は、基本的に脂肪で出来ています。脂肪は種類によって微妙に違いますが、例外はありません。この脂肪体はコロナワクチンの被覆膜と同じですが、細胞膜以外にも細胞内小器官（オルガネラと言います）の被膜にも使われています。ですから、どんな動植物にも脂肪があるのが当たり前ですね。だから貯蔵脂肪体が無いと思われるどんな植物でも、細胞をすり潰す。つまり細胞を壊し、細胞膜を破壊して圧搾すれば油が採れるのは当然ですね。それくらい、脂肪体は*当たり前のケラッカー、それ以上に生物に必須である事が多少とも理解出来たでしょうか。

ついでに言えば、必須脂肪酸があるのはご存知かと思います。これは、細胞膜を作る時、自分の体内で合成出来ないが、必ず必要な脂肪があって、代表種はリノレン酸とか DHA でしょう。

ともかく、脂肪の生理機能は複雑なので、この回を持って説明することは不可能なのですが、どんな動植物にも必ず脂肪は物質であると理解して頂けたでしょうか。（小川 均）

*おがキンちゃんが使ったこの言いまわし、知ってる方は年代がバレます(笑)

《2022 年度の浦和西高斜面林友の会作業は、基本第 2 土曜日 9:30~11:30 に行います》

3月11日（土）、4月8日（土）、5月13日（土）集合は地学教室です。